

教育訓練給付制度の適正な利用に必要な事項について

教育訓練給付制度を適正に利用していただくために、以下の点について十分にご理解いただくようお願いいたします。

- (1) ご自身について支給要件照会をハローワークに行なうことができます。(ご自身でハローワークに出向き支給要件照会票を提出する)
- (2) 専門実践教育訓練給付金の支給対象となる教育訓練経費とは、受講者が自らの名において直接専門実践教育訓練実施者に対して支払った教育訓練の受講に必要な入学料及び受講料(最大3年分)に限られます。施設整備費は含まれません。受講に伴う教科書、ユニフォーム代、国家試験受験料及び受験の準備に伴うカリキュラム外の講座費、補助教材費類、再・追試験料、交通費、パソコン代、保険料、課外授業(保健体育宿泊費等)等の機材費は含まれません。
- (3) 各種奨学金を受けている場合はハローワーク及び本校に申し出てください。給付金から差し引かれることがあります。なお、当該教育訓練経費に係る領収書は申請のつどあらためて発行いたします。
- (4) 専門実践教育訓練支援給付金は、当該教育訓練を実際に本人が受講し、修了を証明する書類を所定期間内(一か月以内)にハローワークに提出することにより支給されるものです。このため本人以外の者が受講した場合や修了できなかった場合は支給されません。授業以外の学校行事への参加は支援給付金対象の受講日とはなりません。支給申請はハローワークに自身が出向かなければなりません。
- (5) 成績不良により所定期間内に修了できない場合は、受講状況や到達状況についてのハローワークからの照会に本校が回答します。

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	医療専門課程(看護師3年課程)				
実施方法	① 通学 (昼間 ・ 夜間 ・ 土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号(15桁)	1910004	—	1610011	—	2
講座の創設年月日 年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間 令和7年3月31日まで	過去一 年の講 座実績	入講者数(40 人)	修了者数 (32 人)	
訓練期間	36ヶ月		総訓練時間	3015時間	

1. 教育訓練目標	
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 (看護師) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 () 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	本校に3年以上在籍し、3120時間を履修し、卒業単位(105単位以上)を修得したことにより卒業が認定されること、かつ保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)21条3項及び保健師助産師看護師学校養成所指定規則(昭和26年8月10日文部省・厚生省令第1号)第4条に基づき、厚生労働大臣が省令で定める科目及び単位を修得すること
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	医療施設及び介護事業所における看護師業務 医療業界、介護事業業界において高い需要がある

2. 教育訓練の内容		
教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名
別紙2「教育内容」とおり	3015	別紙「教材一覧」とおり

3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)	
①受講するに当たって必要な実務経験等	なし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業もしくは高等学校卒業程度学力認定
③その他	

〔特記事項〕

教育内容

基礎分野（15単位 365時間）

科学的思考の基礎（4単位 110時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
物理学	1単位 20時間	1年前期	1.看護で必要とされる基礎的な物理を理解する上で必要な数学の基礎が理解できる。 2.看護に必要とされる基礎的な物理の原理やその応用について理解できる。
哲 学	1単位 30時間	1年後期	様々な思想家の残した言葉にふれながら、そこで示されたテーマを自ら考え、以下の点を学ぶ。 1.人間社会の諸現象を捉える考え方、見方について学ぶ。 2.生命観・社会観・患者観を形成する基礎を学ぶ。
統計学	1単位 30時間	3年前期	1.数値はどのように作られて我々に提示されるか、その過程を知ることで現代の看護職に必要なデータを扱う力、エビデンスとなる論文を読む力、自らデータをまとめて表現する力を得る。 2.統計学の基礎的用語を理解する。 3.エクセルを使って、アンケートデータの要約と表現ができるようになる。
社会学	1単位 30時間	3年前期	1.社会学の基礎を学び、社会的存在としての人間を理解する。 2.社会言動が社会的存在としての人間の社会に与える影響を理解する。 3.事例を通して社会保険と社会学の関係性およびその重要性を理解する。

人間と生活・社会の理解（11単位 255時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
心理学	1単位 30時間	1年前期	1.人を心理学的にとらえることができる。 2.人の成長発達について理解できる。 3.医療の場における対象者の相談及び心の成長や発達を援助するカウンセリング理論と技法を理解する。
教育学	1単位 30時間	3年前期	現在の子ども・若者が抱える発達・成長の具体的な諸問題を検討することを通して、 1.人間の成長・発達と学習、そして社会について探求し、教育の役割について考える。 2.人と人との関わり合い、共に育つための教育の在り方を考える。
社会の中の倫理	1単位 30時間	1年後期	1.社会におけるさまざまな規範の根拠について考え、自分の規範的判断の理由を、他者に表現することができる。 2.生命倫理学の代表的な諸問題について知り、現代の医学のあり方について考えられる。
ベッドサイドの倫理	1単位 30時間	3年前期	1.看護における代表的な倫理的問題について、身近な事例を通して考察し、グループでまとめて表現することができる。 2.看護における倫理的問題について、看護専門職としての自分の考えを深化させることができる。

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
平和と人権	1単位 30時間	1年前期	1.平和と人権に関する講義やフィールドワーク、当事者からの講話を受け、平和や人権に関する自己の考えを深化させる。
英語	1単位 15時間	2年前期	1.英語に対する苦手意識を取り除き、国際社会に対し前向きな心を養う。 2.外国人患者との意思疎通の手段としての英語を理解する。 3.医療現場で必要になる体の部位、症状、病名などの単語を学ぶ。 4.英語特有の発音とリズムを身につける。
世界の言語 (選択必修) 中国語 韓国語 スペイン語	1単位 15時間	2年前期	中国語 1.中国語の学習を通して、異なる文化に触れ、国際的視野及び自らの視野を広げる。 2.発音や文法の基礎を学ぶことで、いろいろなフレーズで簡単なコミュニケーションができ、受講後は旅行や日常生活で実際に活用することが期待できる。 韓国語 1.韓国語の学習を通して、異なる文化に触れ、国際的視野及び自らの視野を広げる。 2.韓国語を学ぶ事を通して病院で韓国人の患者とふれあいができるように、また、韓国語を親しみより民間交流に役に立たせる。 スペイン語 1.スペイン語の学習を通して、異なる文化に触れ、国際的視野および自らの視野を広げる。 2.日常生活、個人的な話題、家族、居住地、年齢などについての会話に参加する。
芸 術 (選択必修) 音楽 美術 写真	1単位 15時間	1年前期	音楽 1.芸術活動をととして、豊かな感性・協調性・創造性・表現力を養う。 美術 1.楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心を培い、心豊かな生活を創造していく意欲を育てる。 写真 1.芸術としての写真の意味を知り、自己を表現することを学ぶ。
野外活動1 (選択必修) スキー キャンプ	1単位 20時間	1年前期/ 後期	1.野外活動を通した身体活動、集団生活の体験から、自己の生活や心身の健康について考えることができる。 2.自然との好ましい関わりを体験し、仲間と心地よい生活を送るために、自己と他者の役割を意識しながら行動する。
野外活動2 (選択必修) スキー キャンプ	1単位 20時間	2年前期/ 後期	1.野外活動を通した身体活動、集団生活の体験から、自己の生活や心身の健康について考えることができる。 2.自然との好ましい関わりを体験し、仲間と心地よい生活を送るために、自己と他者の役割を意識しながら行動する。
野外活動3 (選択必修) スキー キャンプ	1単位 20時間	3年前期/ 後期	1.野外活動を通した身体活動、集団生活の体験から、自己の生活や心身の健康について考えることができる。 2.自然との好ましい関わりを体験し、仲間と心地よい生活を送るために、自己と他者の役割を意識しながら行動する。

専門基礎分野（22単位 500時間）

人体の構造と機能（7単位・155時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
看護生物学	1単位 15時間	1年前期	1.看護の対象を身体的側面からとらえるための基礎となる人体の機能、構造を学ぶ。
解剖生理学Ⅰ	1単位 30時間	1年前期	1.看護の対象を身体的側面からとらえるための基礎となる人体の機能、構造を理解する。 2.人間の生命と生活を支える人体の構造と機能が様々な意味や広がり、関連があることを学ぶ。 3.各器官系統の構造と機能について学ぶ。
解剖生理学Ⅱ	1単位 30時間	1年前期	1.看護の対象を身体的側面からとらえるための基礎となる人体の機能、構造を学ぶ。 2.人間の生命と生活を支える人体の構造と機能が様々な意味や広がり、関連があることを学ぶ。 3.各器官系統の構造と機能について学ぶ。
解剖生理学Ⅲ	1単位 20時間	1年前期	1.看護の対象を身体的側面からとらえるための基礎となる人体の機能、構造を理解する。 2.人間の生命と生活を支える人体の構造と機能が様々な意味や広がり、関連があることを学ぶ。 3.各器官系統の構造と機能について学ぶ。
解剖生理学Ⅳ	1単位 30時間	1年前期	1.看護の対象を身体的側面からとらえるための基礎となる人体の機能、構造を学ぶ。 2.人間の生命と生活を支える人体の構造と機能が様々な意味や広がり、関連があることを学ぶ。 3.各器官系統の構造と機能について学ぶ。
解剖生理学実習	1単位 15時間	1年後期	1.各症状を論理的に探求し、メカニズムがわかる。 2.各症状の成り行きがわかる。患者に起きている事象を正確に観察するための方法を学ぶことができる。 3.各症状における看護のポイントがわかる。
生化学	1単位 15時間	1年後期	1.生体を形作る成分や物質およびそれらの機能と化学的変化などの生命現象を学ぶ。

疾病の成り立ちと回復の促進（9単位・240時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
病気のしくみ	1単位 15時間	1年後期	1.解剖生理学、生化学の学習を基礎に、疾病の病態を化学的に捉えることができる。 2.疾病の病態が患者にどのような症状として現れてくるのか学ぶことができる。
疾病論Ⅰ	1単位 30時間	1年後期	1.整形外科疾患、脳神経疾患、アレルギー性疾患、感染症、膠原病の症状、病態生理、経過、検査、治療法について学ぶ。
疾病論Ⅱ	1単位 30時間	1年後期	1.呼吸器疾患と循環器疾患、血液疾患の症状、病態生理、経過、検査、治療法について学ぶ。
疾病論Ⅲ	1単位 30時間	1年後期	1.消化器疾患のプロセスと病態生理、特徴的な症状と経過、診断の基準、検査データ、治療方法、予後について理解する。
疾病論Ⅳ	1単位 30時間	2年前期	1.腎・泌尿器疾患の症状、病態生理、経過、検査、治療法について理解する。 2.代謝疾患、内分泌疾患の症状、病態生理、経過、検査、治療法について学ぶ。
微生物学	1単位 30時間	1年前期	1.微生物の生態を学び、ヒトとの関わりと病気の成り立ちを理解する事により、患者と看護師自身の安全や感染予防の必要性とその手技を身につける能力を養う。
薬理学	1単位 30時間	2年前期	1.健康回復を促進させる薬物療法を理解するために薬物の基礎的性状および、作用・適用・調剤に関する基本的な事柄を理解する。 2.健康回復を妨げないための薬物の安全と副作用に関して理解できる能力を養う。
栄養学	1単位 15時間	2年後期	1.生命活動を保障するために不可欠な栄養素の種類と生体内での代謝に関する知識を基に、栄養摂取、栄養と食生活について学ぶ。 2.健康回復のために対象の病態に応じた病態栄養学について学び、食事療法における指導的関わりに活かせるようにする。
臨床検査と放射線検査	1単位 30時間	1年後期	1.健康回復を支援するための特徴的な治療、検査について理解し、看護の必要性を学ぶ。 2.各疾患に関連する検査法について理解し、検査における看護の役割を学ぶ。

健康支援と社会保障制度（6単位・105時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
医療の歴史と発展	1単位 15時間	1年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.医学・医療の発展の歴史と課題について問題意識をもつ。 2.我が国における医療供給体制や医療関係者の現状を知り、看護との関わりを考えることができる。 3.医療倫理の諸問題に触れ考えることができる。 4.健康に社会が及ぼす影響を考えることができる。
医療を取り巻く社会	1単位 15時間	3年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.健康格差と貧困格差の関連性を知り社会が健康に及ぼす影響と看護の役割を考えることができる。 2.国、県の医療政策の現状を知り、進むべき方向性を考えることができる。 3.臨床倫理の検討方法を知り、道徳的感性を高めることができる。
公衆衛生学	1単位 15時間	3年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.生活環境や文化、教育、生活習慣などが人々の健康に及ぼす影響について理解することができる。 2.予防の視点をふまえた看護活動を行う上で必要な知識をみにつけることができる。
ヘルスプロモーション	1単位 15時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.ヘルスプロモーションに関する概念や理論を学び、ヘルスプロモーションを用いた看護実践について学ぶ。
社会福祉制度	1単位 15時間	3年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.人間の生きる権利と、それを保障する社会福祉制度を学び、日本国憲法に照らして本来あるべき 社会保障制度のあり方について考えることが出来る。 2.健康を社会発展の歴史から捉える。 3.患者の要求を権利として認め、患者とともに健康回復の取り組みを進め、安心して健康回復ができる保障を実現するための看護の役割を考える。 4.患者の社会福祉に対する要求を捉え、その本質をつかみ健康や障害の状況に応じた社会資源の活用の実態から他職種と連携し、解決手段が見出せる基本的能力を養う。
社会福祉演習	1単位 30時間	3年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.人間の生きる権利と、それを保障する社会福祉制度を学び、日本国憲法に照らして本来あるべき 社会保障制度のあり方について考えることが出来る。 2.健康を社会発展の歴史から捉える。 3.患者の要求を権利として認め、患者とともに健康回復の取り組みを進め、安心して健康回復ができる保障を実現するための看護の役割を考える。 4.患者の社会福祉に対する要求を捉え、その本質をつかみ健康や障害の状況に応じた社会資源の活用の実態から他職種と連携し、解決手段が見出せる基本的能力を養う。

専門分野 (42単位 1070時間)

基礎看護学 (12単位・360時間)

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
看護学入門	2単位 45時間	1年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.看護の対象となる人間を理解し、権利としての健康について学ぶ。 2.看護の変遷をたどりながら、看護の本質を学び、現代社会の患者・利用者の多様な医療ニーズをとらえた看護者としての倫理観を明確とする。 3.看護技術は専門的な知識に基づいて、対象の安全・安楽、自立・個別性を目指した意図的・直接的な看護行為 であることを学ぶ。 4.看護における「技術」の意味を学び、自己の看護技術を修得し向上することができる。
看護職とキャリア	1単位 30時間	3年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.看護管理の目的、機能、看護管理者の役割がわかる。 2.チーム医療や多職種との連携・協働におけるメンバーシップ、リーダーシップのあり方がわかる。 3.講義で理解した看護管理が実際の臨床の場でどのように発揮されているか説明できる。 4.これまでの看護実践及び講義、理論と関係づけながら、理論化し自己の看護の核となる人間観・社会観・患者観を明らかにし、看護観を構築する。
ナースクリエイティブ	1 単位 30時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.戴帽式の取り組みを通じ、同じ志を持つ仲間への信頼を深め、入学後6カ月を経た自分を振り返る。 2.戴帽式の取り組み過程を通じ、多様な意見を受け入れ、また、自己を表現することができる。 3.看護師を目指す仲間と共に、自己の役割を認識し、自主的・積極的に取り組むことができる。
看護理論	1単位 15時間	1年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.代表的な看護理論とその概念を学び、科学的に看護を展開するための考え方を身につけて看護実践に理論的な根拠がもてる力を養う。 2.代表的な看護理論を学ぶことで、看護とは何かという問いに関する自己の考えを持つことができる。
健康的な日常生活を促進する援助技術	2単位 60時間	1年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.食事・排泄・清潔が人間の生命活動及び生活行動であることを理解できる。 2.日常生活行動のアセスメントに必要な情報を理解でき、援助の必要性が判断ができる。 3.疾病や障害により食生活に支障が出た場合の看護について理解することができる。 4.安全・安楽・自立に配慮した根拠のある技術が実施できる。
快適に過ごすための援助技術	1単位 30時間	1年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.入院している患者の安全と安楽を確保するための援助技術を学ぶことができる。 2.環境調整技術では、快適な療養環境を整えるための技術を獲得することが出来る 3.活動・休息援助技術では、活動・休息・移動の基礎知識と実際に学ぶことができる。
治療・処置に伴う援助技術	1単位 30時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.与薬技術の生体への影響と、援助方法を理解する。 2.安全、安楽な注射の実施方法を習得する。
フィジカルアセスメント	1単位 30時間	1年前期	<p>看護専門職としての的確な判断と適切な技術を提供するための基礎となるフィジカルアセスメントの知識・技術を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.バイタルサインをなぜ見るか、メカニズムと関連させて理解することができる。 2.バイタルサインの正常、異常を理解することができる。 3.バイタルサイン技術の基本を身につけることができる。 4.フィジカルアセスメントの意義、技術について理解することができる。 5.看護における観察・記録。報告の意義と注意点について理解することができる。

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
看護過程	1 単位 15時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.看護を具体的に実践するための方法論の1つである看護過程の概要と意義について学ぶ。 2.看護過程を構成する要素とそのプロセスを理解する。 3.演習を通して看護過程を展開する具体的な方法を個人およびグループワークを通して考えることができる。 4.演習を通してアセスメントの実際を個人で経験することができる。
臨床判断演習	1単位 30時間	2年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.臨床判断に必要な科学的根拠にもとづいた知識の活用の仕方わかる。 2.様々な場における事例の状態を推察し、解釈・判断したことを表現できる。 3.2.の自己の思考と対照させ、臨床看護師の考え方や実際の思考・判断について知る。
看護の探求	2単位 45時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.看護研究に関する基礎知識を学び、研究的視点を持つことができる。 2.日常の看護実践を科学的、理論的に分析するための基礎的な手法を知る。 3.プレゼンテーションの方法を知り、3年次のケースレポートの発表に活かすことができる。 4.文章読解力、論理的思考力、表現力を身につけ、自己の考えを適切に表現するための学習方法を学ぶ。

地域・在宅看護論（6単位・150時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
私たちの地域と生活	1 単位 30時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.地域看護とは何かを理解し、対象者は地域で生活する全ての人々であること、対象者の健康問題を科学的な視点で捉え、多様な健康要求を把握するための基礎的な看護について理解する。 2.ケアの対象である家族の特徴について理解する。
地域の暮らしを支援する法と制度	1単位 30時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.地域保健医療福祉活動について学び、そこでの看護師の役割を理解することと、その現状と課題について学ぶ。
地域で生活する人の心の理解	1 単位 15時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.「精神の健康」に関する基本概念を理解し、精神の健康を保障していく精神保健の意義を学び、看護の役割について考える。
地域看護	1単位 30時間	2年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.地域看護の活動が公衆衛生看護、在宅看護、産業看護、学校保健の4つの領域で行なわれていることを学び、さまざまな健康レベルにあるひとの健康を支える活動についてそれぞれの看護の特徴について理解する。 2.地域看護のの対象者とその健康問題の実際を知り、その背景について考察し、地域看護に必要な 基本的な知識について学ぶ。
多職種や地域とつながる看護	1単位 30時間	3年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.地域で暮らす人々を支援するための保健医療福祉機関の専門性と多職種連携・協働について理解する。
在宅看護	1単位 15時間	3年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.疾病や障害を持ちながら地域で生活する対象者への看護について理解する。

成人看護学（5単位・150時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
成人期にある人の理解	1 単位 30時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.成人期における対象の特徴を社会的決定要因（SDH）の中の生活と労働の観点から理解する。 2.成人期における対象の生活と労働の実態を知り、生活・労働と健康の関係から看護の役割を考えることができる。 3.健康問題の発生要因が日常生活・労働と深く密着していることを理解し、む健康の保持・増進と予防のための視点をもつことができる。
成人期にある人の疾病予防と看護	1単位 15時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.健康問題の発生要因が社会的決定要因と深く関連していることを理解する。 2.成人期の健康障害が対象の社会生活や家族及び社会に及ぼす影響を理解する。 3.健康障害を持ちながら生活する成人期の人々への看護の視点、果たすべき役割について学ぶ。
健康を害した人への看護Ⅰ	2単位 45時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.各疾患の病態生理、症状、経過、検査、治療法を理解し、それらに必要な看護について学ぶ。 ①呼吸器疾患看護 ②消化器疾患看護 ③循環器疾患看護 2.成人期にある人々について、様々な健康段階にある患者への看護を学ぶ。
健康を害した人への看護Ⅱ	1 単位 30時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.各疾患の病態生理、症状、経過、検査、治療法を理解し、それらに必要な看護について学ぶ。 ①内分泌疾患看護 ②脳神経疾患看護 ③血液疾患看護 ④腎・泌尿器疾患看護
周手術期看護・がん看護	1単位 30時間	2年後期	<p>周手術期看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.外科的治療の特徴を理解し必要な看護を学ぶ。 2.手術によっておこる生体反応を学び、術後合併症の予防に向けた看護を学ぶ。 3.手術に向う患者の心理を理解する。 ①外科看護 ②運動器疾患看護 ③周手術期看護 <p>がん看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.我が国のがん患者を取り巻く状況を理解し、どのようなケアが必要になるかを学ぶ。 2.がんの病態と臨床経過、治療方法とその看護について理解する。 3.がん患者の身体的・精神的・社会的苦痛を理解し、根拠に基づいた看護を学ぶ。

老年看護学（3単位・75時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
老年期にある人の人権と法律	1 単位 15時間	3年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.老年期にある人々の人権を守るために必要な保健・医療・福祉政策について学ぶ。 2.老年期にある人々を取り巻く家族・地域・社会環境について学ぶ。 3.老年看護学実習Ⅲで受け持った患者を通じて、高齢者の権利を護るための看護の方法について考える。
老年期にある人の理解	1単位 30時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.老年期にある対象の老化に伴う各種機能の変化をつかみ、発達し続ける存在としての老人観を学ぶ。 2.対象の生活史をとらえ、人権を尊重する知識と態度を養う。 3.対象の健康をとらえ、家族・地域・社会環境から捉え、人権を守り、よりよく生きるための保健・医療・福祉政策について学ぶ。
老年期にある人への看護	1 単位 30時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.老年期の健康問題の特徴をふまえ、よりよく生きるための看護の役割を学ぶ。 2.老年期の発達を踏まえ、老年期における疾病とその過程の特徴を学ぶ。 3.高齢者の医療欲求を実現させるための民主的集団医療チーム、および看護の役割を学ぶ。

小児看護学（3単位・75時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
子どもの人権と社会	1 単位 15時間	1年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.子どもと家族を取り巻く社会を理解し、子どもが健やかに成長していくための環境について考える。 2.子どもの権利条約、児童憲章などの学習を通して子どもの人権について学ぶ。
子どもの病気	1単位 30時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.小児期に特徴的な疾患や障害について、その症状と発症および経過の特性、治療及び検査について理解する。
子どもの病気と障がいに対する看護	1 単位 30時間	2年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.正確に病態をつかむための観察の重要性や苦痛を除去し 回復を促進するための援助の方法について学ぶことができる。 2.治療や検査内容を理解し、安全に実施するための看護の役割について理解することができる。 3.病気や障がいの子どもを持つ家族の看護上の問題について理解し、看護の役割を学ぶ。

母性看護学（3単位・90時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
ウイメンズヘルス	1 単位 30時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.母性看護の基盤となる概念である、人間の性と生殖の持つ意味、メカニズムを科学的に理解し、“人権の尊重・自由と責任・男女の平等・連帯と責任のあり方”および母性の視点から「健康」について考える。 2.人間の成長発達過程と母性との関連を学び、母性看護の目的と看護の役割を考える。 3.母性を取り巻く社会環境の変化と母性看護の変遷を理解し、健全な性・生殖、母性の発達を保障するための 母子保健活動について理解する。
周産期にある人の理解	1単位 30時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.周産期の生理的特徴を理解し、正常・異常について学ぶ。 2.新生児の生理的特徴を理解し、正常・異常について学ぶ。
周産期にある人への看護	1 単位 30時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.周産期看護の看護技術を学ぶ。 2.新生児看護の看護援助を学ぶ。

精神看護学（3単位・90時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
心の病気と治療	1単位 30時間	3年前期	1.精神に障害を持つ人の病態を理解し、社会参加を保障する治療や検査を学び、対象の人権を守る看護者としての態度を養う。
対人関係論	1単位 30時間	1年前期	グループダイナミクスセミナー 1.自己を開放し、自由に自己表現していくことを通し、自己理解、他者理解を深める。 再構成 1.コミュニケーションに関する理論とその技法を理解し、援助的人間関係のあり方について学ぶ。 コミュニケーション 1.患者の要求を正しく認識し、専門職業人としての看護技術が提供できる基礎的能力を養う。
心病む人への看護	1単位 30時間	3年前期	1.精神の健康問題に直面している患者に対する看護の役割を学ぶ。 2.精神に障害をもつ人の社会参加のために、保健・医療・教育に従事する人々がどのような役割を果たしているか、また、家族や地域住民も含めた、ネットワークを理解し、看護の役割について学ぶ。 3.精神障害の病態を科学的にとらえ、生活史を総合し対象を捉える重要性について学ぶ。

看護の統合と実践（4単位・80時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
国際看護学・災害看護学	1単位 30時間	2年後期	国際看護学 1.世界の保健医療について、健康問題、国際協力のしくみから国際看護活動の実際を知る。 2.地域（国内）における在留・訪日外国人の生活実態から健康問題が考えられる。 災害看護学 1.災害時直後から支援できる看護活動における基礎的な知識を学ぶ。
医療安全	1単位 15時間	1年後期	1.患者や医療従事者自身の安全を守るため、医療事故防止と院内感染防止のための看護技術について学ぶ。 2.医療事故防止に関する知識を学び、専門職業人として患者の安全を守るための意識と態度を養う。 3.院内感染予防に関する基礎的な知識の獲得と感染予防に関する技術を確実に獲得する。
看護情報とICT	1単位 15時間	1年後期	1.看護の専門性を発揮するために必要な情報とコミュニケーションについて学ぶ。 2.情報を扱う上で必要となる倫理的な配慮について学ぶ。 3.看護情報を知識化するための手法やデータの動的な分析法、インターネットの専門的利用法を学ぶ。 4.情報を適切な看護実践につなげるための科学的思考を学ぶ。
看護の統合演習	1単位 20時間	3年後期	1.複数の事例の状況を判断し、優先順位を考え、事例に必要な看護を実践し、自己の関わりを振り返ることができる。 2.事例の状況をどのように解釈・判断したのか表現することができ、臨床看護師の思考とすり合わせ、臨床判断について考える。 3.シミュレーション等を活用し、自己の看護技術の到達度と課題を知る。

領域横断科目（5単位 90時間）

科目名	単位・時間	進 度	授業の目標及びテーマ
人間の発達と看護	1単位 15時間	1年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.各ライフサイクルにある人間の発達の特徴を身体・精神・社会的側面から理解できる。 2.人間の発達課題に照らして人間の発達を理解することができる。 3.各ライフサイクルにある人間を取り巻く社会と健康問題について理解できる。
終末期と看護	1単位 15時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.各ライフステージの終末期にある患者の看護がわかる。 2.死に対する自己の考え（死生観）が持てる。
薬物療法と看護	1単位 15時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.薬剤を取り扱う看護師の役割を理解することができる。 2.各ライフステージある対象者への薬剤効果が高まるケアを理解することができる。 3.薬剤を安全に取り扱うための知識を持つことができる。
保健指導技術	1単位 30時間	2年後期	<ol style="list-style-type: none"> 1.各ライフステージの特徴をふまえた保健指導方法が見いだせる。 2.各ライフステージの対象に応じた、疾病予防、健康回復の保健指導が出来る。 3.保健指導の実際を通じて自己の指導の振り返りが出来る。
リハビリテーションと看護	1単位 15時間	2年前期	<ol style="list-style-type: none"> 1.各ライフステージの対象とリハビリテーションの特徴がわかる。 2.各ライフステージでリハビリテーションを受ける対象の看護がわかる。 3.リハビリテーション看護の専門性について理解することができる。

教材一覧

[円・税別]

No.	書籍名	出版社	科目	販売価
1	看護に必要なややおし数学・物理	照林社	物理学	1,600
2	看護系で役立つ生物の本 西沢いずみ・有本淳一著	化学同人	看護生物学	1,600
3	系統看護学講座 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 [2022改定]	医学書院	解剖生理学 I～IV (解剖生理学 I・II、解剖生理学演習)	3,800
4	系統看護学講座 人体の構造と機能 [2] 生化学 [2019年改訂]	医学書院	生化学	2,200
5	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [4] 微生物学 [2022年改訂]	医学書院	微生物学	2,200
6	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [3] 薬理学 [2021年改訂]	医学書院	薬理学	2,300
7	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [1] 病理学 [2018年改訂]	医学書院	病気のしくみ (病理学 I)	2,400
8	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [2] 病態生理学 [2018年改訂]	医学書院	解剖生理学 I～IV・解剖生理学演習 解剖生理学 I・II、解剖生理学演習	2,300
9	系統看護学講座 成人看護学 [10] 運動器 [2019年度改訂]	医学書院	疾病論 I (運動器疾患と治療)	2,400
10	系統看護学講座 成人看護学 [7] 脳・神経 [2019年改訂]	医学書院	疾病論 I (脳神経疾患と治療) 健康を害した人の看護 II (脳神経)	2,400
11	系統看護学講座 成人看護学 [11] (アレルギー) 膠原病 感染症 [2020年度改訂]	医学書院	疾病論 I (アレルギー疾患と治療)	2,200
12	系統看護学講座 成人看護学 [2] 呼吸器 [2019年改訂]	医学書院	疾病論 II・健康を害した人への看護 I (呼吸器疾患・看護)	2,400
13	系統看護学講座 成人看護学 [3] 循環器 [2019年改訂]	医学書院	疾病論 II・健康を害した人への看護 I (循環器疾患・看護)	2,400
14	系統看護学講座 成人看護学 [4] 血液・造血器 [2019年改訂]	医学書院	疾病論 II (血液疾患・看護) 健康を害した人の看護 II (血液)	2,400
15	系統看護学講座 成人看護学 [5] 消化器 [2019年改訂]	医学書院	疾病論 III (消化器疾患と治療、外科的治療) 健康を害した人への看護 I	1,600
16	系統看護学講座 臨床外科看護総論 [2017年改訂]	医学書院	疾病論 III (消化器疾患の外科的治療) 周手術期看護	2,700
17	系統看護学講座 臨床外科看護各論 [2017年改訂]	医学書院	疾病論 III (消化器疾患の外科的治療) 周手術期看護	2,800
18	系統看護学講座 成人看護学 [6] 内分泌・代謝 [2019年改訂] 動画付	医学書院	疾病論 III (内分泌疾患・看護) 健康を害した人の看護 II (内分泌・代謝)	3,200
19	系統看護学講座 成人看護学 [8] 腎・泌尿器 [2019年改訂]	医学書院	疾病論 IV (腎疾患・看護) 健康を害した人の看護 II (腎・泌尿器)	2,100
20	系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 [2021年改定]	医学書院	疾病論 IV (腎疾患・看護) 健康を害した人の看護 II (腎・泌尿器)	2,300
21	系統看護学講座 別巻 臨床検査 [2019年改訂第8版]	医学書院	臨床検査と放射線検査 (成人臨床看護 I 放射線医学)	2,200
22	検査値の読み方・考え方 [ホ・ケイト'ック]	医学書院	臨床検査と放射線検査 (成人臨床看護 I 臨床検査)	2,200
23	新体系看護学講座 健康支援と社会保障制度① 医療学総論 [第1版2021改]	総合医学社	臨床検査と放射線検査 (成人臨床看護 I 臨床検査)	1,600
24	ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障② 公衆衛生 [2021年改訂]	メヂカ出版	医療の歴史と発展・医療を取り巻く社会 (保健医療論)	2,600
25	新体系看護学全書基礎看護学①看護学概論 [2022年改訂]	メヂカ出版	公衆衛生学・地域・在宅看護論・ヘルスプロモーション	3,200
26	看護覚え書 [第7版]	メヂカ出版	看護学入門 (看護学概論 I・II)	3,000
27	はじめての看護理論	現代社	看護学入門 (看護学概論 I)	1,700
28	系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術 I [2021年改訂] 動画付	医学書院	看護理論・看護学入門	2,600
29	系統看護学講座 基礎看護学 [3] 基礎看護技術 II [2021年改訂] 動画付	医学書院	看護学入門・看護過程 (基礎看護技術)	2,600
30	フィンカルアセスメント ガイドブック [第2版]	医学書院	援助技術 3科目全般	2,900
31	系統看護学講座 別巻 看護研究 [2016年度新刊]	医学書院	フィンカルアセスメント	2,400
32	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 [2022改訂第6版]	医学書院	統計学 (看護研究)	2,400
33	系統看護学講座 成人看護学 [1] 成人看護学総論 [2022年改訂]	医学書院	地域・在宅看護論	2,200
34	系統看護学講座 老年看護学 [2018年改訂]	医学書院	ヘルスプロモーション 成人期の授業	2,300
35	系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論 [2018年改訂]	医学書院	老年期にある人の人権と法律 老年期にある人の理解	2,700
36	系統看護学講座 小児看護学 [1] 小児看護学概論/小児臨床看護総論 [2020年]	医学書院	老年期にある人の人権と社会	2,300
37	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践 (2) : 医療安全 [2021年改訂]	医学書院	子どもの人権と社会	2,800
38	看護のための人間発達学	メヂカ出版	医療安全	3,000
39	看護のための人間発達学	医学書院	看護情報とICT	2,500
40	新訂 目でみるからだのメカニズム	医学書院	人間の発達と看護	3,300
41	看護過程に沿った対応看護 [第5版]	医学書院	全科目	3,000
42	看護技術ブックフェイス [第4版]	学研	看護過程・実習	4,600
43	精神看護学 I 精神看護学概論、精神保健 [2020年度改訂]	学研	看護技術	5,200
		メヂカ出版	地域で生活する人の理解	2,300
			教科書代合計	108,200
			税込	119,020

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	32	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	40	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	32	人	受験率(③/②)	80.0	%
④ ③のうち合格者数	32	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	30	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	32	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	人			
	2 非正社員、派遣社員	人			
	3 その他の就業(自営業等)	人			
	4 非就業	32	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)		
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	人			
	3 社内外の評価が高まる	人			
	4 円滑な転職に役立つ	人			
	5 趣味・教養に役立つ	人			
	6 その他の効果	人			
	7 特に効果はない	人			
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)		
	2 希望の職種・業界で就職できる	人			
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	人			
	4 趣味・教養に役立つ	人			
	5 その他の効果	人			
	6 特に効果はない	人			
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)		
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	人			
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	人			
	4 就職していない	人			
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	17	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	12	人		
	3 どちらとも言えない	1	人		
	4 やや不満	1	人		
	5 大いに不満	1	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	授業科目は「筆記試験」「総合評価」「レポート」のいずれかによる 学院学生細則第4条3項(評価方法)
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6. 受講効果の把握方法			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	科目ごとに講義時間の3分の2以上の出席、各臨地実習ごとに5分の4以上の出席、科目ごとの試験及び各臨地実習において100点満点中60点以上の得点の者に単位を授与する(本校学則21条2項)		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	「筆記試験」「総合評価」「レポート」により評価する 学院学生細則第4条3項(評価方法)		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えない者。各科目とも3分の2以上の出席をもって評価を受けることができる。臨地実習は5分の4以上の出席をもって評価を受けることができる。各授業科目及び臨地実習において100点満点中60点以上の得点により単位を授与する。修得すべき単位をすべて修得したものが卒業できる。(本校学則21条1項)		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	「筆記試験」「総合評価」「レポート」により評価する 学院学生細則第4条3項(評価方法)		
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	クラス担任制度をとり、担任は面接を年度初め、試験終了時、実習前後に実施して、個別状況を把握しタイムリーな支援を行っている。学習状況に応じて小グループまたは個別学習支援を年間を通して実施している。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	1) 各学年におけるキャリアガイダンスの実施 2) 進路相談窓口担当者の明確化 3) インターンシップ等への積極的参加の支援 4) 就職情報の開示		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	公益社団法人山梨勤労者医療協会 (代表者名: 深沢 眞吾)		
住所及び連絡先	山梨県甲府市宝1丁目9-1 TEL 055-222-6616		
施設名称及び施設長名	共立高等看護学院 (施設長: 内藤 恵一)		
住所及び連絡先	山梨県甲府市飯田3丁目1-35 TEL 055-228-7325		
苦情受付者	氏名 浅川 雄一 所属 事務長	事務担当者	氏名 豊田 裕子 所属 事務課
連絡先	TEL 055-228-7325	連絡先	TEL 055-228-7325
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,611,500 円
支払い方法	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	200,000 円	
① 一括払			
② 分割払		円	
③ 両方可	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	第1期 240,500 円 第2期 230,000 円 第3期 240,500 円 第4期 230,000 円 第5期 240,500 円 第6期 230,000 円 (うち、必須教材費 円)	
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		543,788 円
	① 任意の教材費(税込額)	185,288 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	円	
	③ 施設維持費(税込額)	150,000 円	
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代)(税込額)	208,500 円	
	3. 総額 (1+2) (税込額)		2,155,288 円